

ですから、目を覚ましていなさい。あなたがたの主が来られるのがいつの日なのか、あなたがたは知らないのですから。

マタイの福音書 24 章 42 節

かつてこの世界に幼子として生まれ十字架で死んだのち、甦って天に昇られたイエスは、再びこの世界に来られると予告しました。その時イエスは、かつてとは異なり雲に乗って天に現れます（30）。これが「再臨」です。再臨の時にイエスは真の王として世界を裁き、この世は終わります（3）。しかしイエスを救い主と信じて救われている人は、イエス様のもとに集められて新しい世界で主と共に生きるのです。これが私たちクリスチャンの望みです。

マタイ 24 章には世の終わりがどのような訪れるのか、前兆現象や再臨の時に起こる出来事について、イエス様が語られた言

葉が記されており、終末を考える上で非常に重要な箇所です。

その時には戦争や飢饉、地震が頻発し、人々の愛は冷えるといわれます。人間はこうしたことを繰り返してきました。そういう意味では、再臨の日へ一歩一歩近づいていくということなのです。ただ、近年はこれらの事象がより顕著である気もします。飢饉は気象変動であると解釈されますし、愛が冷えるとは現代の人と人との繋がりが破壊された状況に見えます。「目を覚まし」心を引き締めて、主の再臨に備える私たちでありたいと願います。

一方で、こうしたことに過剰に反応する

ことにも警戒が必要です。カルト宗教は世の終わりを強調して不安を煽り、そこにつけ込むのが常套手段です。再臨に対する偏った理解は信仰の逸脱を生みます。戦争や地震が起ると、再臨が「いつ」来るのかに興味を集中する人々がいます。しかし、イエスはハッキリと「その日、その時がいつなのかは、だれも知りません」（36）と仰いました。踏み込みすぎないように気をつけなければなりません。

大切なことは、その日を待ち望みながら今日という日を主に信頼して生きることです。なぜならば、私たちをひきあげるの自分分の頑張りではなく主であるからです。日々、主のことばを受け止め、その語りかけに応答するならば、いつその日が来ても、主が私たちを導いてくださいます。（泰）

■教団年次総会のためにお祈りください
日時 3月6日(日) 午後1時半より
形式 オンライン

毎年、3月第一日曜日の午後は「シオン・キリスト教団年次総会」が開催されます。シオン6教会より教職代議員9名と信徒代議員13名、会計監査幹事2名、そして陪席者が出席します。コロナ禍で昨年に続き今年もオンラインでの実施です。昨年春には大規模な教職者の人事異動が行われ、コロナ禍にありながらも工夫して連合集会(霊修会など)も開催された一年でした。それらの報告を踏まえつつ、2022年の働きを展望します。教団年次総会のためにお祈りください。

*蒲田出席者
・教職代議員 荻野泰弘 穂谷弘二
・信徒代議員 豊田章一 金川一行
山口光男 菊地芳夫
・会計監査監事 飯田和幸
・陪席 林真光(オンライン担当)

ほかに、荻野真嗣兄が開会礼拝の奏楽奉仕です。

天気予報ではようやく気温が高い日が見られるようになりました。先週も空気はとても冷たくても、日差しは春を感じさせるものでした。教会からシオン館へ向かう途中のあるお宅の庭先には大きな梅の木があり、キレイな花を咲かせていました。3月は卒業式のシーズンでもあります。大切な人生の節目となる式典が無事に行われるようにと願います。心騒がせるニュースが多い最近ですが、十字架と復活の主を特別に覚える季節であることも心に留め、主に信頼して過ごしましょう。

【新型コロナウイルスについて】

① 礼拝式について

第1礼拝 9時/第2礼拝 11時

*オンラインを使用できる方は
そちらをご利用ください。

礼拝映像のネット配信は9時から

(第1礼拝を配信します)

*礼拝堂での出席を希望される方は、事前の申し込みをお願い致します。

② 小学科ホザナ礼拝について

時間 10時20分より

形式 オンライン (zoom)

zoomのID等はスタッフに問い合わせてください